

# 「ピスガホールギャラリー」

「ケアハウスピスガこうせい」のロビーで絵画展等を実施しています。ロビーに絵画・書・刺繍などを展示していただける方をご紹介します。

皆様のご協力で素敵な絵画を展示いただき感謝です。お陰様で、ロビーが楽しく夢のある空間になりました。

## 〈1月〉荒井 朋子さん作品展



## 〈2月〉杉本ファミリー作品展



「ピスガこうせい」の絵をご寄贈いただきました。感謝

## 〈3月〉大石 静江さん作品展



## わがファミリーの自慢



杉本洋二様より、わがファミリーの自慢と作品展のときに寄稿いただきましたので、ご紹介します。

私の母は今年で94歳ですが、大きな持病も無く、年齢のわりには元気で、家では庭でハーブや花を自由に栽培して楽しんでいます。そんな母が85歳のある日、突然、「写経でもしようかな」と言い出したので思わず「死ぬ準備でもするの」と口走ってしまいました。一瞬、会話に間が空き、私は「しまった！たとえ、親子でも言っちゃいけない事を言ってしまったと感じ、とっさに「そんな暗い後ろ向きよりも新たに絵でもチャレンジして前向きの事をしたら」と言いましたところ、今まで絵筆など一度も持たなかった母が「する」と言いました。早速、次の週末に間に合う様、絵画材料を新しく買い求め、翌週より二人並んで同じ物を描きました。当初、『いまさらたい事は出来ない』と思ながらも、気持ち良く過ごしてくれれば良い、位に思っていたのですが、1作、2作と仕上がりに、そのたびに私の居間に飾っていましたが、いつの間にか居間は母親の絵で一杯になりました。

母は02年6月、初めて出展した滋賀シルバー展で(かいつぶり賞)を受賞し、9月、京都市美術館での京都勤労者美術展で(佳作賞)を受賞しました。それに刺激されて長男、次男夫婦、そして叔母も仲間に加わり、私の指導により毎週末にファミリー教室を始めました。母は02年11月めでたく米寿を迎え、ささやかですが03年4月の杉本ファミリーアトリエにてファミリー展を開催し、その中で米寿三二個展も開催しました。また、05年7月には京都寺町のギャラリー カトで卒寿記念ファミリー展を開催、07年3月には地元の湖南市美術展覧会で(市長賞)を受賞しました。またメンバー個々の力にあわせて各種展覧会にチャレンジしています。新しい事や難しいことにチャレンジして、そして継続する事が、いかに大切かを不言実行して、益々創作意欲の衰えない母親のチャレンジ精神が、わがファミリーの自慢です。

## ボランティア様交流会開催



3月6日(金)

「料亭やまりゅう」で、13名のボランティア様と昼食を共にし、意見交換や黒川さんのギターで歌ったりして楽しく過ごしました。事業所とボランティア様との交流が出来、楽しいひとときでした。

## 寄付金・後援会費 感謝報告

2009年1月1日～2009年3月末日

後援会へのご加入をお願い申し上げます。ご協力頂いております方々のご芳名を掲載し、報告とお礼とさせていただきます。【順不同・敬称略】

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 坂田 由次       | 脇畑 賢男       |
| 西澤 馨        | 西村 マツ子      |
| 坂 志づ江       | 北村 ミツ子      |
| 井上 實        | 村上 宏        |
| 日本基督教団 城陽教会 | 原田 潔        |
| 眞柄 正子       | 小林 一枝       |
| 日本基督教団 洛陽教会 | 植田 清一郎      |
| 日本基督教団      | 日本基督教団 水口教会 |
| 京都九太町教会     | 日本基督教団 水口教会 |
| 平野 正        | こどもの教会      |
| 日本基督教団 洛西教会 | 登 政義        |
| うすき みどり     |             |

## 事業内容

ケアハウス：ピスガこうせい／ほだいじデイサービスセンター／ほだいじホームヘルパーステーション／ほだいじ居宅介護支援センター／高齢者支援センターほだいじ／グループホームほだいじ／中央デイサービスしんあい

発行日 2009年4月

発行責任者

理事長 奈良 豊 夫  
館長 森口 茂



取り扱い金融機関 郵便局  
口座番号 0960-0-109363  
社会福祉法人 近江ちいろば会  
会費：年額1口 5,000円(何口でも可)

# ピスガからの風 第22号

2009年4月

社会福祉法人 近江ちいろば会

ピスガこうせい 〒520-3242 滋賀県湖南市菩提寺327-4

TEL.0748-74-3900 (代表)  
FAX.0748-74-3910  
http://chiiroba.jp/

## 2008年度の取り組みと成果



館長 森口 茂

「見える化」というスローガンのもと、自分の仕事を見えるようにしよう、事業所の仕事を内部からも、外部からも見えるようにしようと取り組みました。職員の意識が変わると行動が変わり、風通しのよい事業運営に結びついてきていると思います。ボランティア様、地域の皆様との結びつきも強まった効用も出てきて喜んでます。

職員研修では、「業務改善活動に取り組みました」。職場の運営がうまくいかない、どうしたらよいのかと疑問に思ったり悩んだり多くの職員がしていると思います。

そのような悩みの解決方法の手法を学ぶ機会になればとはじめました。コンサルタントの大石先生の指導のもと年9回の研修を実施しましたが、職員の学びに対する高い意欲ですばらしい成果もできています。

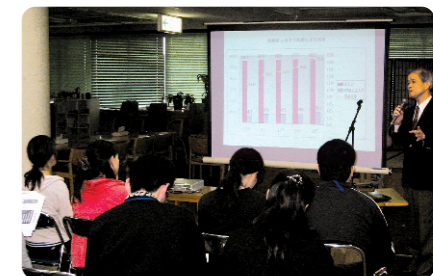


業務改善活動発表会

## 2009年度の取り組み

「LET'S TRY 先ずやってみよう」をスローガンに、本年は取り組みます。検討に検討を加え何も行動しないのでは、何も始まりません。行動に移すことにより、成果を出そう。さらなる自己革新・サービス向上を目指そうです。ご期待下さい。

全事業所に管理者を配置し、深堀のサービスが出来る体制を作りました。それぞれの事業所の自主・自立運営を通して人材育成とサービス向上に結びつくことを願っています。



2009年方針発表会

## ピスガこうせいに通じる道の路側帯が公園になりました。

西日本高速道路(株)様のご配慮により、高速道路関連社会貢献事業として高速道路の「のり面」が美化され、新しく公園のように生まれ変わりました。ありがとうございました。



同志社大学出身の山内千鶴さん、神戸学院大学出身の深松裕央さんです。職場に新風を吹き込んでくれることと期待しています。

## 基本理念：人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい。

私たちはキリスト教の精神に基づいて、高齢者の全生活において、「隣人愛の奉仕」を実施することを基本理念とします。